

よこはま2002 NEWS

Vol. 4
2004.夏号

発行：2004.8.21.

今年は3部構成で開催しました 第二回定期総会

設立総会から丸1年たった6月27日に、1年間の活動の総括と今後の運営を議案とする第二回定期総会を横浜国際総合競技場301号室で開催。今回は会員同士の交流を目的に3部構成にし、第1部で競技場見学ツアー、第2部に総会、第3部で懇親会を行いました。

第1部 スタジアムツアー

総会の第1部は、あの感動のフィナーレを飾った横浜国際総合競技場の「W杯スタジアムツアー見学」。この競技場は1998年にオープンし、無料で競技場内を見学できるツアーを実施していましたが、W杯開催後「あの感動をもう一度」と、W杯の思い出が詰まった内容へと充実させて2003年4月よりツアーを再スタートさせました。

よこはま2002の会員は主に横浜市ボランティアとして活躍したみなさんなので、「W杯開催時は競技場近辺および主要駅での活動のみだったために競技場は初めて」と言う方から、「試合・イベント等で競技場に来たことはあったけど、ツアー参加は初めて」と言う方まで総勢34名が参加されました。ツアー後に感想を聞いたところ、どの方も「よかった」とまずはおっしゃっていました。本当にあの頃の感動が甦って来るツアーで、参加者のみなさんは満足された様子でした。

残念ながら当日不参加だった方、ツアーは不定期ですが、ぜひ一度足を運んでみてください。ツアー開催日は「広報よこはま」または競技場のホームページをご確認の上ご来場ください。 <http://www.hamaspo.com/stadium/tour/index.html>



見どころいろいろのツアー。W杯の裏話も聞けました。

第2部 定期総会

総会は会員総数419名のうち、出席者数88名、欠席者中議決権の議長委任者数219名となり、総数の過半数を得て成立いたしました。

新井代表から挨拶があり、引き続き金平議長から世話人会メンバー24名を紹介。15年度の報告事項では、まず世話人会の活動報告を行い、世話人会議の開催やニュースレターの作成等についてみなさんに報告しました。ボランティア活動の報告では、エコー・ウォーク、東アジアサッカー選手権、トヨタカップサッカー大会、ヨコハマ・ワールド・ウォーク、世界ベテラン卓球大会等について会員のみなさんの活動状況を説明。活動への思いを新たにしました。また、昨年度の決算報告及び会計監査報告、新年度の活動計画案、予算案、会則の改正案について報告され、拍手にて承認されました。

質疑応答では、入会希望者の手続きについての説明要望や当会の広告宣伝費の予算措置の提案、また、会員の事前研修会等の開催に関する提案がありました。世話人会として今後の検討課題としたいと考えています。



総会の会場の様子。よこはま2002の第2年度がスタートしました。

第3部 懇親会

スペースオルタでの懇親会には77名の会員が参加されました。料理やビールを楽しんで、ビンゴでは景品が全員に当り、親睦の輪を大きく広げました。

なかでも、会員の方の多種多様な催しには、みなさん感激。二宮順子さん他「鳥が丘獅子連」のみなさんによる獅子舞では、5名のお囃子と2名の獅子及び面踊りが披露されました。続いて、嵩原サンドラ波子さんと徳峰ミッシェルさんに、ペルー北部の伝統舞踊（マリネラ）を踊っていただきました。その後、観客の皆さんも檯上に上がり、ちょっとしたダンス教室。最初は、恥ずかしさもあってか手足の動きもぎこちなく、戸惑いでしたが、段々とコツをつかんでいき、楽しみながら踊ることができました。最後のトリは、梅澤輝也さんと大森昭一さんのウクレレによるジョイント演奏。お二人での演奏は、この場が初めてで幾分緊張された面持ちでしたが、場内のみなさんも共に歌い、親睦会を楽しく締めくくりました。



見事な獅子舞に拍手！ご出演のみなさんにお礼申し上げます。

出席者の声

総会の質疑応答での辻信作さんのご意見

「この会をもっとアピールするために、広告宣伝費などの予算を考えてみては？また、W杯の元横浜市ボランティアはW杯の際に研修を受けているが、新しく入会された方のためにボランティア研修の場を設けたらどうか？」

総会出席者の小野洋子さんのご感想

「総会は、映像を使いながら、過去の活動の参加者による感想を交えた議事進行で、あっという間の2時間半でした。懇親会は、メンバーの素晴らしい余興で楽しく過ごしました。獅子舞はとても見事でしたし、ペルーの踊りやウクレレ演奏は観客も参加できてよかったと思います。」



今後の活動予定

第1回

ピアノパラリンピック in Japan

初めての試み「第1回ピアノパラリンピック in Japan」が来年1月9日～10日に横浜みなとみらいホールで開催されます。日本障害者ピアノ指導者研究会会長の迫田時雄氏を委員長とする実行委員会が各界の協力を得て行なうもので、障害はあっても音楽をこよなく愛する人々による国際的な音楽の祭典です。日本はもちろん世界各国から参加者を募集中で今年の11月ごろには最終的な規模が決まる予定です。

よこはま2002は、実行委員会の依頼にこたえて、準備段階から1月8日の前夜祭、9～10日の本番まで、各国からの出演者や審査員の案内、誘導、通訳などで幅広く協力してこのプロジェクトの成功に役立ちたいと願っています。米国、カナダ、ドイツ、中国、台湾、韓国、マレーシアなどからの参加が予想されます。詳細が固まり次第ボランティアの募集をしますので正月明けの忙しい時期ですがみなさんご参加をお待ちしています。

会員をご紹介ください

入会方法のご案内と会員数報告

本年度の当会の会員数は、325名（8月15日現在）となっています。さらに多くの方々に会員になっていただきたいと思っておりますが、お知合いで当会に入会して“ボランティア活動をやってみよう”という人はいませんか？ぜひ、みなさんから入会のお勧めをお願いしたいと思います。

当会への入会方法についてご案内致します

1. 入会希望者がワールドカップで横浜市ボランティアとして活動された方の場合

当会事務局宛に「入会申込書」を郵送、ファックス、メールのいずれかで提出し、年会費を振込んでいただければ全ての手続きが完了し、会員登録となります。

2. 入会希望者が、1. 以外の場合

- (1) 会員であるみなさんが「入会希望者の推薦書」を作成して事務局に提出していただく必要があります。
- (2) 世話人会での推薦書の承認後に事務局より推薦者または入会希望者に「入会申込書」の送付と会費の振込方法を連絡します。
- (3) 入会希望者は会費の振込と「入会申込書」を事務局に返送していただければ（推薦者でも可）、会員登録となります。

TVK・東京新聞によこはま2002が登場

4月9日(金)東京新聞の「仲間サークル」コーナーでよこはま2002が紹介されました。カラー写真（東アジア大会のもの）入りで、今まででいちばん大きな記事で、とても目立っていました。見逃した人は、会のホームページ「活動記録→新聞スクラップ」に転載してありますのでごらんください。

この記事がきっかけで、TVKテレビの「Hi!横浜情報局」がベテラン卓球大会の活動の様子を取材してくれました。この番組は中田市長が編集長を務められている情報番組です。よこはま2002が登場したのは「my yokohama shot」という横浜市内で活躍するグループや団体にスポットをあてるコーナーです。

ぶっつけ本番の取材のため、会の紹介を担当した野崎さんはNGを連発して赤面。ほかにも、みなさんの活動の様子をたくさん撮影していただきました。本番での放送はほんの1分ほどでしたが、短い時間にいろいろな場面がぎゅっと凝縮されていました。放送は7月3日（土）、TVKの番組ホームページのバックナンバーに写真が残っています。

<http://www.tvk-yokohama.com/hamahen/>



TVKの撮影風景。ついにTVデビューです！

ご寄付ありがとうございました！

定期総会会場の受付に寄付金箱を設け、総額7,700円のご寄付が集まりました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。今後もイベント時には寄付金箱を設置していく予定です。会では、常時皆様からの現金や切手のご寄付を受け付けております。切手は会の住所あてに郵送、現金は下記郵便口座へお振込みでお願いいたします。

00280-1-75689 加入者：ワールドカップ横浜ボランティアの会（振込用紙の通信欄に「寄付」と記入ください）

みなさんご寄付はすべて世話人会で報告・承認し、会の活動資金に充てさせていただきますので、ひきつづきご協力をお願いいたします。

世話人会へいらっしゃいませんか？

よこはま2002はみなさんの力を合わせて活動を手作りする会です。世話人は現在24名。会を運営する世話人会では、まだまだ手が足りません。見学はいつでも大歓迎。まずはオブザーバーとしてお気軽にご出席ください。終了後の交流会も楽しいですよ。

★次回以降の開催は 9月15日（水） 10月21日（木） 19時～21時

★場所：桜木町 横浜市市民活動支援センター 4階研修室 ※見学をご希望の方はあらかじめ下記連絡先までご連絡ください。

編集後記

昨年6月の設立総会からはや1年が過ぎました。企画したいろいろなイベントのすべてが初体験で世話人一同夢中で頑張ってきましたが会員の皆様のご協力で成功させることができました。活動に参加した会員数は準備段階を含めて延べ千人をこえました。嬉しいことに活動を通じて大勢の方に新しく会員になっていただきました。今年も楽しい有意義な企画を計画中です。これまでの貴重な経験に新人のパワーを加えて、素晴らしい第2年度に向けてジャンプしましょう。

発行 / 2002ワールドカップ横浜ボランティアの会

〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56

みなとみらい21クリーンセンター5F 横浜市市民活動支援センター 気付 レターケース番号044

FAX (045) 223-2888 レターケース番号044 専用電話はありませんのでご了承ください

[E-mailお問合せ] fifa2002wcyokohama@yahoo.co.jp [URL] <http://wcyokohamavo:unteers.hp.infoseek.co.jp/>

よこはま2002

荒天のなか、89名のボランティアが奮闘しました！ ヨコハマ・ワールド・ウォーク 2004

ゴールデンウィーク最終日の5月5日に行われた「第1回ヨコハマ・ワールド・ウォーク2004」。主催の財団法人横浜市スポーツ振興事業団との打ち合わせを2月下旬から重ね、4月25日にボランティア説明会を行い、大会当日を迎えました。当日は風雨の激しい生憎の天候でしたが、総勢89名のボランティアが活動。観光ガイド、受付、スタンプポイントや立哨でのコース案内などを実施し、大会全体をサポートしました。



写真は受付での一コマ。参加された全ての業務のみなさん、雨のなかお疲れさまでした。

「観光ガイド」は、世話人の村田博さん、長山秀雄さん作成による観光ガイドの資料をもとに、下見や準備を行い当日に備えました。ツアーでは、31名の参加者を6つのグループに分けてそれぞれガイドが2名つき、思わず「へえ～」と関心を誘う楽しい観光ポイントのエピソードなども交えながらお客様をご案内。活動のアンケートには「お客さんに喜んでいただけて嬉しい」といった充実感にあふれた声がガイドのみなさんから寄せられました。

「受付」の業務では、強い雨と風で受付用テントを予定場所に設置できなかつたり、参加者への配布物が揃っていませんかつたりといったハプニングがいくつか発生。雨天で参加者が少なかったため混乱は防げましたが、次回への課題が見え、今後の改善へつながらる具体的な提言がアンケートにもありました。ゴールで参加者を迎える受付担当のみなさんのあたたかい拍手には、この会ならではのW杯で身につけたホスピタリティーがありました。

「ポイント・立哨」は、10カ所のポイントと22カ所の立哨地点でスタンプの押印やコースへの誘導を実施。参加者の誘導を行いながら「お疲れさま！」と声をかけるなど、風雨と寒さに耐えつつ元気を出して活動を行いました。反省点としては、担当する場所の周辺情報を事前にもっと把握しておく必要がある、などの意見が出ました。

今回は、横浜市スポーツ振興事業団としても会としても初のイベントであった事や悪天候により、準備不足・情報不足がありました。しかし、これによりたくさんの提案がみなさんからあった事は今後にとって大きなプラスです。アンケートのご意見は主催者へ報告書として提出しました。すでに来年の協力要請も受けていますので、今年の経験を2005年へつなげて行きましょう。

国際大会を、通訳&案内・誘導でサポート!

世界ベテラン卓球選手権

5月30日～6月5日(土)「第12回世界ベテラン卓球選手権大会」がパシフィコ横浜で開催されました。この大会には、世界47ヶ国から、40歳代から80歳代までのベテラン選手や関係者が2,400名来場。よこはま2002では、5月30日・31日の2日間、横浜市教育委員会スポーツ課の依頼により、駅から会場までの通訳および案内・誘導を行いました。今回は交通費や食事の支給なしのボランティア活動でしたが、60名の募集に対し、100名以上のご応募をいただきました。抽選ではずれてしまった方、本当にごめんなさい。

<活動概要>

事前説明会は5月16日(日)平沼記念レストハウスにて実施。W杯以来の国際的大会ということで、参加者からの質問も多く、みなさんの熱意が感じられました。説明会終了後には、本番に備えてグループごとに現地を視察していただきました。本番では桜木町駅から、パシフィコまでのルート上に案内ポイントを7箇所、拠点2箇所設け、通訳・案内が一体化したグループ活動を展開しました。30日は真夏のような晴天となり、炎天下での終日の活動で、女性は日焼けが気になったのでは?翌31日は一転して天気が下り坂。昼ごろから風が強くなり、立ってられないところや、案内プラカードが破損するポイントが出てきたため、13時に活動終了しました。31日だけの参加の方は、活動時間が短くて物足りなかったかもしれませんが、みなさん本当にお疲れさまでした。活動した方の大半は、ボランティア・スピリット全開で来場者に積極的に声をかけ、会場までの誘導のみでなく、いろいろな質問に答え、手助けをしていました。困っている人がいたら最後まで見届けようとするところが、この会の持ち味です。展示ホール入口は、来場者の記念撮影ポイントにもなっていましたね。案内プラカードがグループにひとつしかなかったのも、自分たちで手作りしたり、チェコ語のプリントを持ってきてくれた方もいたり、みなさんの力を結集して充実した活動ができました。

海外からの大会来場者と一緒記念写真。
みなさんイキイキ活動していました!



<アンケートの声>

今回の活動では、単なるルートの案内だけではなく、来場者とのコミュニケーションが楽しめたことを理由に、達成感を感じ、満足された人が多いです。また、あまりなじみのなかった卓球というスポーツにも親しみを持ってたというご意見もありました。いっぽう、交通費や食事がなかったことで、「安易に人を使おうとしているのでは」という少数のご批判もありました。

<反省点>

パシフィコ横浜周辺は国際的なイベントが常時開催されているにもかかわらず、外貨の両替の問題や国際公衆電話などの外国人向けの設備が整っていません。活動を通して気づいたことは、すべて教育委員会に報告させていただきました。私たちの活動を通して、横浜が外国人に優しい町になるよう、会では今後もこうした提言を続けていきたいと思っております。



2004年秋 ボランティア募集!

会員のみなさんお待たせしました。いよいよ秋のイベントが始まりますよ! 同封の応募用紙に記入の上、どしどしご応募ください。 ※募集要項などを載せた応募用紙を2枚同封しました。みなさんよろしくお祈りします。

秋のイベントその1

新横浜パフォーマンス 10月2日(土) / 3日(日)

今年で13回目を迎えるこのイベントは、新横浜町内会を中心に横浜市や港北区役所の協力を得ながら、駅前と競技場が一体となって行われる新横浜の「お祭り」です。昨年の来場者は2日間で42万人もあったそうです。今年は横浜開港150周年を記念して、当時アメリカから入ってきた西洋文化に臆することなく、それを歴史ある日本文化にミックスさせて作り上げた、横浜のアイデンティティーを前面に出します。テーマは「新横浜発! 横浜的neo-Japanesque(日本流の最先端)」で、「Surprise(驚き)」の連続となる企画満載です。活動内容はインフォメーションブース、清掃、誘導案内、ゲーム運営の各日69名で、英語の通訳も必要です。大会ホームページ <http://www.shinyoko.net/>

秋のイベントその2

エコー・ウォーク2004イン・ジャパン 10月24日(日)

今年で5回目となるこのイベント、大会として協力するのは2度目です。昨年活動した当会ボランティアの中から、カップルも誕生。何が起るかわからない、お楽しみ満載のイベントです。1999年にデンマークのコペンハーゲンで始まったこのイベントはチャリティーを目的としたウォークラリーで、1km歩くごとに100円募金するシステムのため、参加費1,500円の内、1,000円ずつが日本ユニセフ協会などに贈られます。(ボランティアには参加費の必要はありません。) 活動内容は、観光ボランティアと、今年はコース上の誘導員もやりますので合計70名です。大会ホームページ <http://www.walkathon.jp/>

横浜国際総合競技場 運営ボランティア募集

横浜国際総合競技場では、Jリーグや各種イベント大会時にお客様の案内など運営の補助活動を行う「運営ボランティア」を現在募集中です。W杯ボランティアの実績があるみなさんに、ぜひご協力をと要請がありました。W杯での経験を活かせるチャンスです。詳しくは右記の問合せ先へ。

<問合せ先>

横浜国際総合競技場 宮田・宮崎

TEL 045-477-5030 FAX 045-477-5002

<ホームページにも詳細や応募用紙が載っています>

<http://www.hamaspo.com/stadium/volunteer/index.html>

私、こんなことやってます。

会員のみなさん個人のボランティア活動をご紹介します

<ボランティア 出前マジック>

鶴見マジッククラブ会長
満橋捨雄さん

観客の拍手が“カ”に。

私がマジックに興味を持ち始めた事について一言。

確か小学生の2、3年の頃だったと思います。福井県の田舎の小さな小さな小学校の講堂で夜、演芸会があり、母と早くから最前列の席を陣取り「手品」を楽しみに待っていました。マジシャンは黒の衣装で小さなバケツを持って登場しました。空中やお客さんの体からコインを掴む仕種をして、次々とバケツへ投げ込むと、無いはずのコイン一枚一枚の音がして最後にバケツの中から山盛りのコインが出てきました。この初めて見た手品に驚き、不思議さに魅せられてしまいました。

鶴見でマジッククラブが活動していることを知り、入会して12年。本年度に三代目の会長に就任いたしました。会員数25名、内、女性が17名と女性群の多い楽しいクラブです。特色として女性副会長が「ボランティアマネージャー」を担当し、月に平均2~3回病院、老人ホーム、地区センター等のディサービス、誕生会、敬老会等へ「出前マジックショー」をしています。特にディサービスのお客様はマジック大好きな方が多く、お客様と一体となり楽しんで演技をしています。アンコールの声もかかり、時間をオーバーすることもたびたびです。「今度はいつ来てくれるの?」と暖かい言葉もいただきます。最後には一人一人と「いつまでもお元気で!」と握手をします。みなさんの握手からパワーを貰い、感謝をしながらほのぼの気分が家路につきます。私は70歳を過ぎて、元気で好きなマジックで「拍手」でいただける幸せを感じている日々です。



ヨコハマ・ワールド・ウォーク打ち上げにて、お礼を使ったマジックを披露していただきました。

ご登録ください

会員メーリングリスト



~ボランティアを10倍楽しむために~

よこはま2002会員メーリングリスト(以下ML)は、会員相互の電子メールによる交流のためのシステムです。

ときには世話人会から非公式な事前情報が流れてきます。正式な案内が来る前に、いつどんなイベントがありそうなのか、期待して待ってみるのも小さな楽しみ。

イベントが近づくと参加前の興奮をみなで共有したり、イベント参加後には苦労話や楽しかった余韻を語り合ったり、自分の担当だけでなく、ほかの人の持ち場のあんなことやこんなこともわかります。参加当日だけでなく、前も後ろも楽しくなっちゃいますよ。

いろいろな理由で自分が参加できなかったイベントのようすだって、参加者の生の声で知ることができて、もう参加者気分。イベントに参加してもしなくても、誰かのサッカー観戦記や日常の雑談まで、会員MLで「人のつながり」を貪欲に楽しんじゃいけません。

登録は、希望するアドレスから下記あてに氏名・会員番号をお知らせください。

add_me_2002@hotmail.com

※会員メーリングリストのアドレスは事務局のアドレスと異なりますのでお間違えのないようお願いします